

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 3 月 30 日(2023.3.30)

【国際公開番号】WO2020/243254
【公表番号】特表 2022-534502(P2022-534502A)
【公表日】令和 4 年 8 月 1 日(2022.8.1)
【年通号数】公開公報(特許)2022-139
【出願番号】特願 2021-570380(P2021-570380)
【国際特許分類】

10

H 0 5 K 1/03(2006.01)

H 0 1 L 23/52(2006.01)

【F I】

H 0 5 K 1/03 6 3 0 D

H 0 1 L 23/52 E

H 0 5 K 1/03 6 1 0 G

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 3 月 22 日(2023.3.22)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の材料と、

前記第 1 の材料と第 2 の材料との間の接合部において、前記第 1 の材料に接合された第 2 の材料と、

前記接合部を越えて延在し、前記第 1 の材料と前記第 2 の材料との間に連続した相互接続部を形成し、第 1 の電子部品を第 2 の電子部品に電氣的に結合する流体相導体とを有し

30

、
前記第 1 の材料と前記第 2 の材料とは、相互に異なった、機械的特性、制約、または処理パラメータのうちの少なくとも 1 つを有することにより異種であることを特徴とする個別の構造体。

【請求項 2】

さらに、前記第 1 の材料と前記第 2 の材料との間の前記接合部に移行部を有する請求項 1 に記載の構造体。

【請求項 3】

前記移行部は、重ね接続部を備える請求項 2 に記載の構造体。

40

【請求項 4】

前記流体相導体は、導電性ゲルを含む請求項 1 に記載の構造体。

【請求項 5】

前記第 1 の材料は、前記第 2 の材料よりも実質的に剛性が高い請求項 1 に記載の構造体。

【請求項 6】

前記第 1 の材料は、前記第 2 の材料よりも実質的に弾性が高い請求項 1 に記載の構造体。

【請求項 7】

さらに、前記流体相導体の一部を実質的に包み込むように、前記第 1 の材料上に配置さ

50

れた第 1 の封止材を有する請求項 1 に記載の構造体。

【請求項 8】

さらに、前記流体相導体の一部を実質的に包み込むように、前記第 2 の材料上に配置された第 2 の封止材を有する請求項 1 に記載の構造体。

【請求項 9】

前記第 1 の材料は、前記流体相導体の少なくとも一部が貫通するビアを備える請求項 1 に記載の構造体。

【請求項 10】

前記構造体は、前記第 1 の材料と前記第 2 の材料との間の接合部に、重ね接続部を有し、
前記ビアは、前記重ね接続部を貫通する請求項 9 に記載の構造体。

10

【請求項 11】

さらに、前記第 1 の材料に取り付けられ、前記流体相導体に電氣的に結合された電子部品を有する請求項 1 に記載の構造体。

【請求項 12】

前記第 1 の材料と前記第 2 の材料との間の前記接合部は、第 1 の接合部を備え、
前記構造体は、さらに、前記第 2 の材料と第 3 の材料との間の第 2 の接合部において、前記第 2 の材料に接合された第 3 の材料を有し、
前記流体相導体は、前記第 2 の接合部を越えて延在し、前記第 1 の材料、前記第 2 の材料および前記第 3 の材料の間に連続した相互接続部を形成し、

20

前記第 2 の材料と前記第 3 の材料とは、相互に異なった、機械的特性、制約、または処理パラメータのうちの少なくとも 1 つを有することにより異種である請求項 1 に記載の構造体。

【請求項 13】

前記構造体は、さらに、前記第 1 の材料に取り付けられ、前記流体相導体に電氣的に接続された前記第 1 の電子部品と、

前記第 3 の材料に取り付けられ、前記流体相導体に電氣的に接続された前記第 2 の電子部品とを有する請求項 12 に記載の構造体。

【請求項 14】

第 1 の材料を含む第 1 の基板と、
前記第 1 の基板上に設けられた第 2 の材料を含む導電性接触層と、
前記第 1 の基板上に設けられた第 3 の材料を含む第 2 の基板と、
前記第 2 の基板上にパターン状に配置され、前記導電性接触層とで連続した電氣的な相互接続部を形成する流体相導体とを有し、
前記第 1 の材料、前記第 2 の材料および前記第 3 の材料のうちの少なくとも 2 つは、相互に異なった、機械的特性、制約、または処理パラメータのうちの少なくとも 1 つを有することにより異種であることを特徴とする個別のセンサ構造体。

30

【請求項 15】

さらに、前記第 2 の基板上に設けられ、前記連続した電氣的な相互接続部に電氣的に接続された電子部品を有する請求項 14 に記載のセンサ構造体。

40

【請求項 16】

前記第 1 の基板は、前記連続した電氣的な相互接続部が前記導電性接触層に接続するビアを備える請求項 14 に記載のセンサ構造体。